

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解することができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点

月	内容のまとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5		見えないだけ アイスプラネット 問いを立てながら聞く 季節のしおり 春 枕草子 自分流「枕草子」を書こう 情報整理のレッスン 思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る 漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。	・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 ・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。 ・粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
6		クマゼミ増加の原因を探る 思考のレッスン1 具体と抽象 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする 漢字に親しもう2 文法への扉1 単語をどう分ける？ →文法1 自立語（P234-237）	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。 ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。	・積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。 ・粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。

6	情報社会を生きる	メディアを比べよう／ メディアの特徴を生かして 情報を集めよう／ 「自分で考える時間」をもとう	・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。
7	言葉と向き合う	短歌に親しむ 〔書く〕短歌を作ろう 短歌を味わう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。	・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。 ・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。
7	読書生活を豊かに	読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 夏	・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。	・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。
9	人間のきずな	盆土産 字のない葉書 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く [推敲]表現の効果を考える 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすること。	・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	・粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。 ・積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。 ・粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。

10		モアイは語るー地球の未来 思考のレッスン2 根拠の吟味 根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く 漢字に親しもう4 [討論]異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 音読を楽しもう 月夜の浜辺 季節のしおり 秋	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。	・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 ・粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。 ・進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
11	いにしえの心を訪ねる	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 扇の的ー「平家物語」から 仁和寺にある法師ー「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて論じよう 漢詩の風景	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。	・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。 ・進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。 ・進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。
12	価値を語る	君は「最後の晚餐」を知っているか 「最後の晚餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く 漢字に親しもう5 文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 →文法2 用言の活用 (P238-243)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。 ・進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。
12	読書に親しむ	研究の現場によろこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃／クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 冬	・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすこと。	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
1 2 3		走れメロス [書く] 作品の魅力をまとめ、語り合おう 漢字に親しもう6 文法への扉3 一字違いで大違い →文法3 付属語 (P244-250) 構成や展開を工夫して書こう	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解すること。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合	・粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしてい

	表現を見つめる	「ある日の自分」の物語を書く 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名 国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る 木	年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めること。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること。 ・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	い、結論を導くために考えをまとめること。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを	る。 ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
評価方法			・ ペーパーテスト	・ ペーパーテスト ・ 課題プリント ・ 論述 ・ レポート ・ グループでの活動	・ 授業の様子 ・ ふり返り ・ 課題プリント ・ 提出物

学習の進め方

～授業～ - 教科書等をしっかりと読み、自分の考えをもちましよう。それぞれの考えを共有し、深めていきましょう。一つの考えだけでなく、そこからさらに発展させて考える力をつけていけるようにしましょう。 - グループ活動や発表では、自分の考えを伝えるだけでなく、仲間の考えをしっかりと聴くことが大切です。最後までじっくりと聴きましょう。 - その日の授業で考えたことを、ふりかえり、次の学習につなげていきましょう。 - 学習したことを、普段の生活につなげて考えていきましょう。 ～家庭学習～ - その日の学習を、教科書・プリント・ワークを使って復習しましょう。 - 次の授業の予習を教科書・ワークを使ってしておく。漢字や意味を各自調べておきましょう。 ～テスト～ - 課題プリントにしっかりと取り組み、テストに備えましょう。 - ワーク・教科書・プリントを使って、これまでの復習をしておきましょう。
--